

「アンテナの研究」レポート 「Wellbrook ALA1530 VS RF Systems EMF」

前回に引き続き「短いアンテナ(省スペースアンテナ)でもDXはできるか？」をテーマにレポートしてみたい。今回は Dixer 諸氏の間で定評のあるループアンテナ Wellbrook ALA1530 を前回の RF Systems EMF と比較してみた。ALA1530 は英国 Wellbrook 社の製品であり、直径 1m ほどのアルミ製のループアンテナである。既に何人かの Dixer の方がレビューを発表しておられるが、総括すると「ノイズと混変調に強いがゲインは今一つ」という評価に集約されるような気がしていたので、最初は余り関心がなかった。しかし最近お知り合いになった Dixer 氏のレビューが余りにも魅力的であったので、ついに購入に踏み切った次第である。

製品 GBP 129.95 と送料 GBP 24.2 合計 GBP 144.15 だったので日本円で約 26,000 円程であった(EMF は約 13,500 円)。郵便局から為替で申し込む。待つこと約 3 週間で手元に到着。買ったはいいが取り付け金具等の問題で苦労して一ヶ月近くたってやっと仮設置にこぎつける(このあたりの事情は「BCL 随想」にアップしましたのでご参照下さい)。

さて両者を比較して総括すると、ALA1530 の圧勝である。「磁界成分にしか反応しないのでノイズと混変調に強い」という評価は実際その通りで、アクティブアンテナにもかかわらず余分なものを増幅していないようである。両者の差は受信結果に顕著に表れている。これではもはや比較の対象にならないので、どちらかと言うと私の秘蔵っ子、RF Systems T2FD との比較を中心に置くことにする。

そうして改めて総括すると、ALA1530 は T2FD とも互角のレベルにある、非常に優れたアンテナであると結論付けられそうである。受信成果は互いにほとんど差がなく、周波数帯によって得手不得手が出ているに過ぎない。大まかに言えば、

- ・ 中波帯 ~ 75mb は ALA1530 の方が良好
- ・ 60 ~ 31mb は両者あまり差が感じられない
- ・ 25mb 以上は T2FD の方が良好

と言える。元々 T2FD のカバーする範囲が 3MHz ~ であったので、それ以下の周波数はやはりループの方が強く、高い周波数帯では T2FD の方が強い。また中間の周波数帯ではあまり差はないのだがゲインは若干 ALA1530 の方がある(Sメータの振れも ALA1530 の方が全般的に大きい)。T2FD はどこまでも静かである。しかし時には何も増幅されない T2FD の素直な信号の方が聞きやすいケースもあるので、一概にはどちらが良いとは言えない。

ということで省スペースのアクティブアンテナを選ばれる際は、是非とも候補の一つとしてお勧めしたいすばらしいアンテナであるとまとめてペンを置く。

Frequency	Station	ALA1530	T2FD	EMF
2310	ABC	25332	15331	×
2410	R.Enga	25332	15331	×
3205	R.Sandaun	34443	34433	×
3345	RRI-Ternate	35433	35433	×
3905	R.New Ireland	35443	35443	25332
4769.95	R.Nigeria Kaduna	25442	24442	×
4914.42	R.Anhanguera	24432	24332	×
5020	SIBC	34443	34433	24332
6060	R.Tupi	33433	24432	23321
9515	R.Novas de Paz	23432	23432	23432
11785	R.Guaiba	24442	24442	13221
11924.92	R.Bandeirantes	24432	24432	14331

[ALA-1530]



[EMF]



[T2FD]

